

## 一般社団法人ワカモノート（兵庫）

ワカモノートは、2020年5月1日に設立したできたばかりの団体です。若者（大学生・高校生）と一緒につくる物語をノート（記録）して、自分の街を好きになる活動をする、という趣旨で活動しています。



2017年から株式会社エアグラウンドで始めた「ワザカタログ」という高校生向けのキャリア教育プロジェクトが軌道に乗り、多くのサポーターの方や企業が協力してくれるようになってきたので、エアグラウンドのスタッフをコアメンバーとして団体を設立しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年までと同じような活動ができなくなってしまいましたが、オンラインとオフラインを合わせた活動に切り替えて対応しています。6月から兵庫県立尼崎高等学校の授業に協力し、高校生が自ら進路を選択する力を身に着けることができることを目標に活動を進めています。

### ■ワカモノート設立の経緯

設立の母体となっている株式会社エアグラウンドでは、映像やWEBを活用して、企業や商品の魅力を伝える事業を行なっています。その中で、どれだけすぐれた技術を持っていても、

良い組織風土があっても、名前が知られていない中小企業は求人を出しても応募が集まらず採用に困っていることに問題意識を持っていました。

そこで、魅力を伝えることができる、という自社の強みを活かして、まだ知られていない中小企業と高校生をつなぐ「ワザカタログ」プロジェクトを2017年にスタートしました。2018年からは、県立尼崎高校と連携し、授業の一環として中小企業の技術（ワザ）を伝えるイベントを校内で開催しています。そして、2019年には20社の中小企業が参画し、高校生、大学生が企業の現場取材して、その魅力を若者に伝える冊子「ワザカタログ」を完成させました。

プロジェクトを進める中で、ハンズオン・インターンシップの受け入れにも参画し、3年間で8名の学生がプロジェクトに関わり、アイデアが徐々に形になっていきました。また、地元の尼崎市の市長を始め、多くの市役所職員の方や、高校、企業の方も「こんな機会をもっと広げていきたい！」と応援してくれる人がどんどん増えていき、本格的に活動を進めるために2020年5月に団体を設立しました。



■高校生と中小企業が出会い、関わりあう場をつくる

ワカモノートでは、主に2つの活動を行なっています。

- ・高校生と中小企業をつなぐためのメディア「ワザカタログ」(WEB・冊子)の運営
  - －高校生・大学生が、現場に行きながら企業の記事の取材・編集を行う
- ・高校生と中小企業が直接交流するイベントの開催

交流イベントは、2018年から開始し、去年は10社の企業と22名の高校生が参加、「第1部 企業のワザ体験」では、製品や道具に触れる、社員さんと話をし、「第2部 アイデア会議」では、高校生と企業が一緒になって、「高校生が挑戦したいこと」×「企業が得意なこと」＝「新しいもの!？」を考える機会をつくりました。

参加した高校生からは、以下のような前向きな感想を得ることができました。

- 「自分が知らないだけでおもしろい会社がたくさんある」
- 「普段うまくいかないことも、大人とだったら楽しくできる」
- 「夢の可能性が広がった!!」



■さらに関わりあう場をつくるために

今年もすでに15社以上の中小企業が参加を表明し、行政などサポーターの協力も得られ、今後も中小企業は多く集まってくる見通しです。一方で、昨年まで活動をしてきた中で課題を感じている部分があります。

1 点目は、高校生にメディア（WEB・冊子）に感心を持ってもらうことです。昨年冊子・WEB を制作しましたが、全員が興味を持って見てくれるわけではなく、より多くの高校生に前のめりに見てもらうためにはもう一工夫いると感じています。学ぶという視点だけではなく、エンタメ要素などを加えて面白がって見てくれるなどのアイデアを付け加えることが必要だと感じています。

2 点目は、企業の方と高校生が仲良くなり、良い関係性をつくることです。高校生はずっと心を開く生徒ばかりではなく、特に年齢が離れると壁をつくってしまいます。良い関係性が土台にあることで、大人と話し合えたり、関わりあうことができると考えています。高校生と大人が仲良くなれる機会や方法をもっと考えていきたいと思っています。

3 点目は、この新型コロナウイルスの影響により、オンラインの活用が必須になったことで影響が出てくると考えています。高校生はインターンシップとして、企業の現場を訪問し、その場の雰囲気や味わったり、間近で機械などの設備や環境を感じて取材をしていました。感染症に気をつけながらオンラインを使ったインターンシップが予定されています。オンラインでも同様に現場を体感してもらうことができるのか？あらゆることを想定し、昨年までと同様の効果を実現できるように、準備と工夫をして臨んでいきたいと思っています。

オンラインでコミュニケーションを図るツールとして、Zoom や Remo を活用しています。また、今後は日本で普及しているものだけではなく、海外の最新のツールを活用しながら、より効果的なオンラインでのコミュニケーション環境をつくりたいと考えています。海外の IT エンジニアとのネットワークをつくり、ゆくゆくは IT に強い母体のエアグラウンドでワカモノートの活動に最適なツールを開発できるようにもなりたいと考えています。

#### ■組織体制

団体名：一般社団法人ワカモノート

設立：令和 2 年 5 月 1 日

住所：兵庫県尼崎市南武庫之荘二丁目 2 番 7 号 新井ビル 3F

職員数：2 名

代表理事：畠中裕介（株式会社エアグラウンド）